

# 第59回全日本スキー技術選手権大会 2月17日改訂版

## 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

第59回全日本スキー技術選手権大会実行委員会

本ガイドは、第59回全日本スキー技術選手権大会実行委員会の「第59回全日本スキー技術選手権大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」ならびに(公財)全日本スキー連盟の[「SAJ 競技会 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン 第3版」](#)に基づき作成しました。

本大会に関わる全ての皆様におかれましては、本ガイドラインに従って感染拡大防止を徹底し、安全で円滑な大会運営にご協力頂きますようお願いいたします。なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに御留意ください。

### 参加要件

(1)村外から本大会に関係する全ての関係者、選手、監督、引率者、外部指導者(コーチ)、OS、プレスは下記書類のいずれかを大会実行委員会に提出する。

・ワクチン接種証明書 及び PCR もしくは 抗原検査キットによる陰性証明(検体写真可・開催地へ到着時に検査検体し、各監督コーチによる本人の検体によるものであることを確認お願いいたします)を下記の陰性証明フォームに添付お願いいたします。

・ワクチン接種証明が無い方はPCR もしくは 抗原検査により

医師又は薬剤師等による陰性証明書を提出とする。

いずれも令和4年2月28日の時点で有効な証明書とする。

※陰性証明が必要な方はお近くの医院や薬局などで取得お願いいたします。

※取得が難しい状況である場合には白馬の薬局にて当日対応のご用意があります。

(数量限定・要予約 0261-72-5593)

(2) 証明書等を提出しない場合は、本大会への参加は認められない。

(3) 検査費は自己負担とする。

ワクチン接種証明・陰性証明・陰性証明検体提出先(クリックで移動しない時はアドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてください) <https://forms.gle/BZWsGjoNDFnBjEWy9>

(4) 予選 1 日目(3 月 3 日)を大会開始日と設定し大会期間前 2 週間、大会期間中の体調管理チェックを各自行い大会実行委員会に提出する。

提出先

・大会開始 2 週間前(クリックで移動しない時はアドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてください)

<https://forms.gle/aKE9JFpBneVCAbjR6>

・大会期間中(クリックで移動しない時はアドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてください)

毎朝7時まで提出のこと。提出されていない場合には出走できないことがあります。

<https://forms.gle/HBdyrLnpc2WZZn5s7>

### 大会への参加制限

(1) 令和 4 年 3 月 2 日まで

① 大会前10日以内(2月 20 日以降)に、感染者もしくは濃厚接触者と認定された者の大会参加は認めない。

② 大会前10日以内(2月21日以降)に、感染が疑われる者が発生した場合は、必ず医療機関を受診し医師の診断または検査を受ける。感染が否定される明確な医師の診断や検査結果がない限りは、その者の大会参加は認めない。

③ 大会前 2 週間以内(2月 17 日以降)に、政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合、その者の大会参加は認めない。

(2) 大会期間中

① 来会受付以降、大会期間中に選手や監督・引率者、外部指導者(コーチ)に風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)や倦怠感、味覚嗅覚の異常など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、その選手や監督・引率者、外部指導者(コーチ)の大会参加を認めず、棄権とする。

②大会受付以降、大会期間中に選手や監督・引率者、外部指導者(コーチ)に上記のような症状が出た場合、当該者の所属する選手団及び同大会に出場している選手や同会場にいた監督・引率者、外部指導者(コーチ)の中で、濃厚接触者の候補となる者の以降の大会参加を認めず、棄権とすることもあり得る。

<濃厚接触者の候補>

- ・感染が疑われる者と宿舎で同室または長時間の接触があった者
- ・感染が疑われる者の飛沫(くしゃみ、咳、つば等)に直接接触した可能性の高い者(1m以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある)
- ・手で触れることの出来る距離(目安として1m)で、必要な感染予防策なし(※)で、感染が疑われる者と15分以上の接触があった者(例えば、感染が疑われる者と会話していた者)

※必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

③来会受付以降、大会期間中に同居人に感染が疑われる者が発生した場合は、速やかに医療機関を受診し医師の診断または検査を受ける。その診断・検査結果により、感染者もしくは濃厚接触者と認定された場合、その者の大会参加は認められない。

④虚偽の報告があった場合、本大会からの抹消および次年度の参加について認めないことがある。

来場制限及び入場方法について

(1)各競技会場への入場は、以下の方のみとする。

- ・選手【競技参加選手一覧】に記載がある者
- ・監督・引率者、外部指導者(コーチ) 事前に届け出があった者
- ・大会役員、競技役員
- ・報道関係者及び各メーカーのスタッフ

(2)上記に記載されている全ての者は、各競技会場内でIDを携行(提示)すること。

(3)入場時の検温は行わないので、必ず当日の検温を行ってから来場する。また、発熱(概ね37.5℃以上)やその他の風邪の症状(咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)、倦怠感、味覚嗅覚の異常などがある場合は来場を見合わせる。 (4)新型コロナウイルス感染拡大の状況及び緊急事態宣言等の発令によって、無観客での開催とする場合もある。